

令和7年度すくわくプログラム活動報告

江戸川区 臨海第二保育園

テーマ「音」



臨海第二保育園は、自然に囲まれています。園庭や園周辺には樹木が多く、近くには葛西臨海公園や旧江戸川土手があります。散歩へ行くと、落ち葉踏みをして遊んだり、風を体感、自然の音に気付く姿が見られます。また、年長児が行っている誕生日の友だちを紹介する放送の音楽が始まると「誰の誕生日かな？」と期待する姿が見られます。

様々な音に気付いたり、音で遊ぶ、音楽が楽しいことが始まる合図となっている姿から、子どもたちが様々な音を感じたり、音を捉える感覚を養い、主体的に音を奏で、不思議に感じたことを探求できたら、もっと楽しくなるのではないかと考え「音」で遊び始めました。



見たことがない新しい楽器を保育士が持っていることに気づき、集まってきた1歳児クラスの子どもたちです。

ツリーチャイムが揺れたり触れると音がして、興味津々でした。

数か月後、チャイムをつかんだり離したり、子どもたちなりに鳴らし方を試してみる姿に変化しました。そして、友だちと一緒に鳴らすことも楽しみ始めました。



楽器スタンドから自分で選ぶことも楽しみの一つです。

これにする!!



5歳児クラスでは、友だちと音を比べ合う姿が見られました。

身近なもので楽器の音を再現して遊ぶことも楽しんでいます。



すくわくプログラムの活動を通して、子どもたちが自分から音を奏でようとしたり、音で遊ぶことが楽しいと感じている表情や姿が増えていきました。試す、比べる、友だちと楽器の音を身近な玩具などで再現しようとする等、各年齢の探求心の芽生えが見られました。

そして、子どもたちが楽しむ姿を見守りながら、保育士も「音」の面白さに気付きました。楽器遊びに限らず、子どもたちが保育士では表現しないような擬音語で表したり、雨音を耳を澄ませて聞こうとし、活動や環境をデザインすることの大切さを感じました。今後も、子どもたちの「楽しい」「面白い」「どうして？」等を遊びの中で引き出せる環境や活動を工夫していきたいと思います。